

令和6年9月認知症を知る月間の取り組み結果について

◎ 令和6年度の認知症普及啓発事業のテーマ

- ・認知症について関心が低い世代（子ども・子育て世代）に、認知症についての普及啓発を促し、身近なものだと捉えてもらう機会をつくる。

◎ 令和6年度 9月の認知症を知る月間 テーマ

- ・認知症講座あしたの会で上映する映画若年性認知症をテーマとした「オレンジ・ランプ」との連携企画として
①「みんなで灯そう『希望』のオレンジランプ」②「生きていく工夫つなげる希望」をテーマにイベントやたま広報の掲載、パネル展示を実施。

- ・子ども向け認知症普及啓発リーフレットを作成し、子ども・子育て世代を対象とした、認知症普及啓発イベントを実施する。

◎ 月間の活動内容

【市全域のイベント】

イベント名	開催日時		内容
認知症講座 「あしたの会」	9月28日	第1部 ：216人 第2部 ：190人	認知症と共に生きること～若年性認知症から考える～ 第1部 映画「オレンジ・ランプ」上映 第2部 当事者対談「生きていく工夫つなげる希望」 トークゲスト：丹野智文氏、みらいの会・いこいの会会員、市内グループホーム施設長・利用者 ファシリテーター：来島氏 オレンジパートナー：8名参加 会場設営・運営・普及啓発等の協力。
たま広報 (特集号)	8月20日号		【テーマ】灯そう希望の光、暮らそう工夫とともに！ 【内容】 認知症当事者やその家族からのメッセージやオレンジパートナー・認知症サポーター養成講座を受講した学生から、当事者へのメッセージを集めて掲載した。 その他みらいの会（当事者会）と家族会（いこいの会）から日々の工夫について収集し掲載した。
希望のメッセージを 送ろう！	9月中	全児童館	認知症子ども向け作成マンガ「認知症ってなあに？」を読んで、認知症について考えメッセージを記入。 メッセージは、普及啓発の一環としてパネル展示や講演会の会場装飾に使用した。
児童の集いでの認知 症普及啓発	9月6日	唐木田児童館 18人	児童館乳幼児の集いの時間にて、子どもたちと「オレンジランプ」の作成、保護者へ向けて、認知症についての普及啓発を行った。
認知症 サポーター養成講座 (基礎)	9月7日	50名	市全域対象の今年度2回目の認知症サポーター養成講座を実施。特別企画として認知症を題材とした創作落語と、もの忘れを題材にした古典落語の後に、講義を行った。
認知症サポーター ステップアップ講座	9月7日	51名	認知症サポーター養成講座と連続してステップ講座を実施。講義に加えグループワークでは、認知症になったらどのように生活したいか、自分にできることは何かを自分事として考えるグループワークを実施。新たに、オレンジパートナーとして17名の登録があった。
パネル展示	9月中	関戸公民館 市役所玄関	認知症当事者やその家族からのメッセージのほか、認知症サポーター養成講座の受講者や地域の普及啓発イベント等で収集した、子どもやまちの人のメッセージや作品を展示。また、認知症の関係機関について周知。
図書館連携展示	9月中	多摩中央 図書館	毎年実施している、図書館との他課連携。 認知症関連図書コーナーを設置し、関係機関の周知を行う。

【地域へのイベント】

分類	内容
子ども向け普及啓発	子ども・子育て世代に対して、オレンジランプ工作や子ども用普及啓発リーフレット等を通じて、認知症の普及啓発。また、認知症に関する絵本の朗読によって行った認知症普及啓発。
通いの場の普及啓発	地域のサロンや、介護予防教室、近トレ等の通いの場に対して、認知症予防の講座等を等を通しての普及啓発。
イベント	地域で、認知症に関する独自のイベントを開催しての普及啓発。
認知症サポーター養成講座	9月の認知症を知る月間の一環として認知症サポーター養成講座の開催。
認知症カフェ	9月の認知症を知る月間の一環として、認知症カフェでイベントを開催。
オレンジパートナー	オレンジパートナー（認知症の人と共に活動する伴走者）が9月の認知症を知る月間のイベント等に参加した人数。
展示	認知症に関する企画展示

<西部>

子ども向け	通いの場	認サポ	展示	オレンジパートナー
1 回	3 回	2 回	1 回	2 人

<東部>

子ども向け	通いの場	オレンジパートナー
4 回	12 回	2 人

<多摩センター>

子ども向け	認カフェ	認サポ
1 回	3 回	2 回

<中部>

子ども向け	イベント	展示	オレンジパートナー
1 回	1 回	1 回	3 人

<北部>

子ども向け	通いの場	認サポ	認カフェ	オレンジパートナー
2 回	1 回	1 回	2 回	4 人